

くらよし

May
2010

5

平成22年5月号

No.1383



石田市長 初登庁

4月12日(月) 倉吉市役所本庁舎西玄関

大勢の職員に迎えられ初登庁した石田耕太郎市長。職員からお祝いの花束が贈られ、拍手で歓迎を受けると、笑顔で応えていました。

CONTENTS

- 倉吉市長就任インタビュー 2～5
- 平成22年度当初予算……………6～7
- 国民健康保険……………8～11
- 定住自立圏協定締結……………12
- 第28回アザレアのまち音楽祭2010
/ 第9回天女音楽祭……………13
- ハート・バリアフリー……………14
- インフォメーション
・プラス……………15～17
- インフォメーション……………18～23
- あんしんファイル/
まちかどピンナップ……………24～25
- 出かけてみよう……………26～27
- レッツ！介護予防……………28
- シナプロ韓国/生涯学習……………29
- 若者の定住に向けて/人口……………30



巻頭インタビュー

第6代倉吉市長

石田 耕太郎

(60)

倉吉市の第6代市長となった、石田耕太郎市長が4月12日(月)に初登庁しました。

石田市政のスタートにあたって、首長としての意気込みと熱き思いをインタビューしました。

聞き手：岡本保夫(総合政策室長)

倉吉に元気を、若者に夢を

——まずは、市長就任の感想をお聞かせください。

倉吉は、本当にいいまちだと思えます。歴史もあり、文化度も高い。市民の皆さんもそういうまちに誇りを持って暮らしておられると思っています。そのまちの市長に就任したということで、非常に責任も感じています。これから市民の皆さんの幸せ、福祉向上ということを一生涯やらなくてはならないなど、そんな気持ちでいます。

就任してまだ間もないので、分からないことも多いのですが、これから一生涯仕事して、結果も出していきます。



いと思っています。

私は、これまで、市民の皆さんに、「倉吉に元気を、若者に夢を」と呼びかけてきましたので、それに向けてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

——今まで県にお勤めでしたが、それと比べて市役所の雰囲気はどうですか？

県と違って、住民により身近な組織ですから、市民の皆さんの目線で、しっかりやらないといけないと思います。

職員には、就任式の訓示で、仕事をすろうえでの心構えを5点ほどお願いしましたが、特に、明るい職場づくりに一緒に取り組み、ぜひ、生き生きと仕事をしてもらいたいと思っています。

市民が主役のまちづくりを

——まちづくりの、基本的な考えを教えてください。

市政を運営していくうえで、大切にしたいと思うことがいくつかあります。まず一つは、市民の皆さんと行政とが信頼感のある取り組みを行うこと。信頼関係をきちんと築いていって、それをもとに行政を進めていく。そういうことを大切にしていきたいと思っています。

やはり、まちづくりというのは、基本的に市民の皆さんが主役で、行政は、それをサポートする役割だと思います。そういう関係には、お互い信頼感がな

いとうまくいかないと思います。

では、それをどうやって築いていくのかというと、それは、情報公開と現場主義を徹底していくことから生まれるものだと思います。そこから、市民の皆さんの信頼が得られるだろうし、市役所も元気になる、活性化していくのではないかと思っています。

——「市民の声を行政に反映する」ということが大事だと思うのですが、その方法を何か考えておられますか？

まずは、今、お話ししたように、現場主義ということで、職員には、現場にどんどん出て行って、市民の皆さんの声をしっかりと聞いてもらいたいと思います。その中で、市民の皆さんの悩みや問題をきちんと収集して帰ってくる、それが次の施策を作るときの一歩の基礎になると思います。まずは、現場に出ることが大切だと思っています。

もちろん、それだけではなくて、市民の皆さんのさまざまなご意見をうかがう場というものをつくっていきたいと思っています。

——倉吉は、「暮らしよいまち」と言われています。石田市長は、「暮らしよいまち」というのは、具体的にどのようなまちだと思いますか？

職住が近くて、市民の皆さんが、自分の思いをきちんと遂げることができ、そういうまちでなければならぬと思っています。

そのためには、働く場所があつて、福祉もきちんと充実していて、防災面も含めて安心して暮らすことができるまちづくりが必要です。そうして市民活動も活発な、元気に生活できるまちになる。それが「暮らしよいまち」なのではないかと思っています。

【職員への訓示】

(4月12日(月)市長就任式にて)

- ・情報公開、現場主義の徹底
- ・明るい市役所づくり
- ・行財政改革
- ・公平公正な行政を行う
- ・現場に出向いて市民の声を聞く
- ・地域活動へ参加する

【市政に対する5つの基本姿勢】

- ・徹底した情報公開
- ・現場主義の徹底
- ・行財政改革による市民負担の軽減
- ・市役所の活性化
- ・市政改革を進めるための組織づくり

【5つの重点施策】

- ・若者の働く場の確保と産業振興
- ・子育て支援
- ・生涯元気に、それぞれの地域の特徴を生かした、だれもが暮らしやすいまちづくり
- ・中心都市機能の充実

効率的・効果的な行財政改革を

——これまで市政の課題に対して5つの基本姿勢をあげておられますが、その中で、行財政改革には、どのように取り組んでいかれますか？

行財政には、お金の問題と、組織の問題があります。

財政の面では、これから状況が一気に好転することは、なかなか望めないのではないかと思います。収入がぐんと増えるようなことは難しい時代に入っていますので、やはり、無駄を省く、なくしていくことを徹底しなければならぬと思います。それには、職員も、しっかりとコスト意識を持つて、不要なものを使わないとか、リサイクルできるものは、どんどんしていくというような取り組みをする必要があります。特に、以前から市役所体質の悪い面として言われる、いわゆる予



▲4月18日(日)には、早速、せきがねつつじ温泉まつりに出席して市民とふれあう。かごかきレースに出場した、鳥取キタロウズと記念撮影。

算の使い切り主義、これもやめて、残すことができるお金は、きちんと残すことを徹底していく必要があるだろうと思っています。

一方では、歳入で、本来、得られるべきものは、きちんと収入をして、未収をなるべくなくす取り組みもやっていかなければいけない。

市役所の組織体制も、よく点検して、できるだけスリム化をしていかなければならないと思っています。

——倉吉市では、およそ1,200の事業を現在行っています。国では、今、盛んに「事業仕分け」ということが言われていますが、倉吉市ではどうでしょう？
どんな施策についても、作った時は必要性があつたと思います。けれども時間が経つにつれて、本来の意義や存在意義が薄らいでくることもあります。マンネリになってしまつて、効果が薄れてきているものがあれば、きちんと、※スクラップアンドビルドする必要があります。



スクラップして、新しい事業を行っていくことができる体制は必要だと思います。日々施策を点検して、振り返っていく、必要性を毎年点検していく作業が必要なのではないかと思えます。職員には、そういった意識を持ち、不要なもの、あるいは、外した方がいいものが出てきたときは、どんどん提案してもらいたい。そういう職員になっ

て欲しいと思います。
※採算や効率の悪い部門を整理し、新たな部門を設けること。

——倉吉も今、経済が停滞していると言われているのですが、変えていかなければならないと思うところはありますか？

経済の状況というのは、倉吉だけが悪いのではなく、どこでもそうなっているのでは、非常に難しい点だと思います。けれども、元気であるためには、やはり働く場がなくてはならない。雇用の場をきちんとしてくれることが、当面、一番大きな課題だと思っています。

そういう意味でも、倉吉の基盤になる、農業をベースにした産業の活性化、それと、今の状況ではなかなか難しいのですが、企業誘致にもしっかりと取り組みたいです。

それから、今、白壁土蔵群や赤瓦を中心に、新しい動きがいろいろ出てきていますので、そういう新しいまちづくりの取り組みもどんどん進めていく必要があると思っています。

また、倉吉では、NPOの活動が非常

に盛んです。そういう活動は、新しいまちをつくる大きな力になってきたのではないかと思いますので、連携を取りながら、進めていきたいと考えています。

若者定住と雇用促進

——これから、倉吉の舵取りをしていくわけですが、これだけはやりたいということはありませんか。

施策はどれも大切なのですが、「若者が定住できるまちづくり」が、一番求められているのではないかと思います。「若者が定住できるまちづくり」は、まちづくりの究極の姿であり、この部分に重点を置けばいいということにもならないのですが、若い世代の皆さんが、倉吉に誇りを持って、定住できるようになまちの姿にしたいです。

それには、やはり究極は産業で、雇用の問題になってくると思います。若い人が自己実現できる働く場所の確保ということを最優先にして取り組んでいきたいと思っています。

それともう一つは、若い人たちにとって、大きな負担になっていく子育ての問題は、支援をしっかりと考えていきたいと思っています。

そういう意味での若者定住のベースをきちんとつくっていくことに力を注ぎたいですね。

——これまで、周辺町などに若者が出て行ってしまいう傾向が続いていたのですが、ここ一年ぐらいはそれが止まり、逆に、周辺町から倉吉に転入してくる傾向が見られます。本市の子育て支援施策が、よい方向に向きかけてきたとも思えます。今後の倉吉にとって一番大事な問題は、雇用の場をどうやってつくるのか、若者がどうやって定住するのかということだと思います。

その通りだと思います。それは倉吉だけの問題ではなく、中部全体としても、倉吉の都市機能を充実しないと、力にならないと思います。生活していく力が一番原点というのが、働く場所ということになるでしょうから、中部の中でも、倉吉の企業の集積力をもっと高めていく必要があるだろうと思っています。



——その倉吉市の魅力というのはどのようなところだと思いますか？

私は、この非常に落ち着いた、文化度が高いところだと思います。歴史が根付いて、文化が根付いている。一般的には、「静かだ」とか、「人が少ない」ということがマイナスに取られがちなのですが、静かで落ち着いたまちというのは、プラスとして見ていいのではないかと思っています。都会のように慌ただしい日常ではなく、ゆったりとした時間の流れの中で、暮らしていくことができるまちというのは、大きな魅力だと思っています。

——では、逆に、今の倉吉市に足りないものは何だと思いますか？
それは皆さんからも意見を出してい



◀4月23日(金)には、児童の健やかな育ちを願う、こいのぼりの掲揚式に出席。大きなこいのぼりと園児に囲まれて記念撮影。

ただきたいのですが。やはり、よく言われるように、人口規模が小さいと商圏がどうしても小さくなるので、消費の場、娯楽の場が大きな都市と比べると欠けるところもあると思います。けれども、すべてを倉吉の中に取り込むというのも、これは難しいことだと思いますから、倉吉の特徴を生かしながら、落ち着いたまちという特徴を生かしたまちづくりを進めた方がいいのではないかと思っています。今の時代、「何でもかんでも」ということはできなく

なっていますから。

ただ、若い皆さんが、定着できるように、魅力のあるまちにしていかなければならないと思います。

— 今度は個人的なことを伺いますが、普段の「石田耕太郎」さんは、どんな人ですか？

— どうなんでしょうね(笑)、自分で言うのはなかなか難しいですね。意外と体を動かすことが好きで、体格は細いですけど、何でもやりたい、非常に好奇心が強いタイプではありますね。運動も見るよりやる方が好きですね。人がたくさんいる所より静かなところでやる方が好きです。

— 趣味は何ですか？

— 趣味というより、何でもやってみる性格です。野球をやったりゴルフをやったりするのが好きですね。

— 座右の銘はありますか？

— 何事も、真心をもってするという心掛けてきたので、強いて言えば誠

心誠意というのが近いかなと思います。

— 最後に、市民の皆さんにメッセージを。今、よく「倉吉は沈滞している」とか、「疲弊している」と言われますけれども、私は、現実にはそんなことはないと思っています。環境が厳しいことは事実ですが、それを「厳しい、厳しい」と言う

のではなく、「未来は明るいものだ」と発想を変えて、倉吉に自信と誇りを持って暮らしていただきたいと思えます。私自身もそういう姿勢でまちづくりをしていきたいと思っています。

— これから、元気なまちづくりにどんな取り組みたいと思っています。企業も元気で頑張って、市民の皆さんの活動も活発に行われて、倉吉で生き生きと暮らすことができるところが「元気なまち」だと思います。

— 市民の皆さんが主役ですので、倉吉市のこれからの取り組みを応援し、一緒に進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

石田 耕太郎

(いしだ こうたろう)

昭和24年8月8日生まれ

【略歴】

- 昭和43年3月 倉吉東高等学校卒業
- 昭和48年3月 大阪市立大学法学部卒業
- 昭和54年10月 鳥取県職員
- 平成12年8月 境港管理組合事務局長
- 平成14年4月 福祉保健部長
- 平成18年4月 生活環境部長
- 平成21年4月 県営病院事業管理者
- 平成22年4月11日 倉吉市長

【趣味】 ゴルフ、スキー、野球
などスポーツいろいろ

太陽光発電+オール電化で経済的!

倉吉市海田西町2丁目37番地 株式会社 **エナテックス**

☎ **28-1111** URL: <http://www.enatex.co.jp>

お食事処 **花湯亭** 限定

日帰り昼食プラン ※月~金曜日(祝日を除く)

湯の花御膳 1,500円 (入浴料・税・サツ)

お食事+入浴のセットになってとってもお得!

メイン料理を6品からお選び頂けます。
エビフライ・鶏の唐揚げ・魚フライ・天ぷら・とんかつ・鶏の照焼き

三朝温泉 **溪泉閣**

〒682-0122 東伯郡三朝町山田180
☎ **(0858)43-0828**
<http://www.keisenkaku.com>